

筒賀小学校の児童は夏祭りに筒賀保育所から招待され、とっても楽しい時間を過ごしました。

そこで、1・2年生で、お礼に秋祭りをしようということになりました。

秋祭りに出す出店(ゲーム)を考えていると、児童から「クレーンゲームをしたい!」と提案がありました。話を聞いてみると「夏休みに参加した科学アカデミーで作ったクレーンゲームが楽しかったから、もう一度作って、年長さん・年少さんにも楽しんでもらいたい!」ということでした。

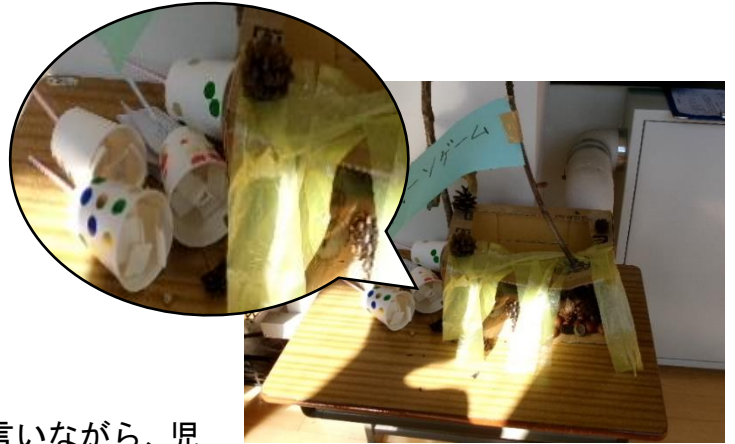
「こんなのだった」「あんなのだった」と言いながら、児童の記憶をたどってクレーンを作ってみました。うまくいきません。そこで、YouTubeを見たりしながら、試行錯誤し、ようやく作ることができました。特にクレーンの爪の数や向き、折り方は何度も工夫しました。

また、高学年や大人もクレーンが楽しめるよう、つかむものを入れるボックスにブラインドとなるテープを付けるなど、難易度を変える工夫もしました。

秋祭りでは、年長さんも年少さんもしっかり楽しむことができました。つかむためには、コツが必要で、何度もチャレンジし、つかめた子は飛び跳ねて喜んでいました。

ものづくりの楽しさ、試行錯誤しながら作りたいものが完成した時のうれしさ、人に楽しんでもらう喜びなど、いろいろなことを体験し、知る機会となりました。

また、「科学アカデミー」という学校とは違う場での学びを学校で生かす、実社会と学校をつなぐ貴重な機会となりました。



○児童が自分たちで作ったクレーンゲーム。爪の数や向き、折り方などを変えながら、つかめるように何度も作り替えました。

○ゲームの難易度を変えるため、箱にブラインドとなる、黄色のビニールテープを付けました。



クレーンゲームで遊んでいる様子。ボックスの中のドングリや松ぼっくりがつかめたときは、飛び跳ねて大喜びしました。



遊んでくれた子には秋の実で作ったコマなどをプレゼントしました。



紙コップで作ったクレーン